

筑波山山行報告（2023年3月5日（日））

参加者： 伊藤（L）、池田、陽田（3名）

行程： 9:00 つくばセンター駅＝（バス）＝9:45 つくば神社入口（陽田）＝10:00 つつじが丘 10:10－10:45 弁慶茶屋跡 50－11:25 女体山山頂 30－11:45 御幸ヶ原（合流） 12:00＝（ケーブルカー）＝12:08 宮脇駅－12:47 筑波山梅園－観梅・昼食 13:40－13:55 つくば神社入口 14:30＝バス＝15:05 つくばセンター駅 15:11＝秋葉原

早くも3月、梅の季節になってきた。今回は筑波山を登り、軽いハイキングの後にふもとの梅林を訪ねることにした。低山とはいえ関東平野の眺望も楽しみである。

本日はつくばエクスプレスでつくばセンター駅のバス乗り場に行くと、早くも長い列ができていた。バスは超満員だが増便はなく、我々は池田さんのおかげで座ることができた。多くの方が立ったままであった。もっとも、30分前の便はガラガラだったようだ。

手前で5分くらい渋滞したが筑波山神社では多くの方が下車した。陽田さんはここで下車しケーブルカーで山頂を目指す。私と池田さんは終点のつつじが丘まで行ったが、これは少しでも高い地点（520m）から登り出すというラクチンコースだからである。

装備を整えて10時10分に出発する。大きなガマのわきから登る登山道は最初のうち傾斜がきつく、息が切れてハアハア言い出す。今日は曇りがちだが暖かく、汗が出てくる。一休みして振り返ると、関東平野や霞ヶ浦が広がっているがややかすんでいる。ゆっくり登るので後続の人に追い越されるが、日曜日にしては人が多くはない。現在ロープウエーが整備中のため、筑波神社方面から登りつつじが丘に下る人が多いのかもしれない。

10時45分に弁慶茶屋跡に着き一息入れる。この先は弁慶七戻り岩や、大仏岩など奇岩があちこちにある。山頂近くになると下ってくる人が多くなってきて、11時25分に女体山頂（877m）に到着した。コースタイムは1時間40分であるが大分短縮できたので、体力はまだありそうだと自信がついた。天気は良くなつてはきたが、残念ながらまだ遠方はかすんでいる。山頂の岩場は久しぶりの大混雑で、写真だけ撮って早々に山頂を立ち去った。

次いでゆっくり歩いて11時45分に御幸ヶ原に着き、ここで陽田さんと合流した。そのまま12時のケーブルカーで下山、本日の主目的である梅林見物に向かう。ケーブルカー駅から横に梅園まで行けるはずだが良く道がわからなかったため、10分ほどバス道路を下って正門（?）に行った。入口には「満開」の表示があり、斜面に沿った園内は多くの梅が咲いている。梅林の中にあるベンチに座って昼食、前後左右すべて梅の花の素晴らしい眺めである。これで青空ならば言うことはないのだが贅沢は言えない。素晴らしい梅を堪能して、20分遅れの14時30分発のバスに乗り15時過ぎに秋葉原に着いた。秋葉原でいつものサイゼリアに入り、筑波山は花の種類が多く今回は梅見には時期がちょうど良かった。次は4月のカタクリに時期に再度訪れてみたいなどと2時間近く話し、18時ごろ解散した。

（伊藤）